

3月例会 『希望の国』

2016 年度総会は 4 月 27 日 (水)

会員熱烈募集中

最近では、毎度、呼びかけているところですが、会員数の減少に伴い、加古川シネマクラブの運営が、慢性的な赤字状態に陥りました。2か月に1回の例会(映画鑑賞会)を中心とした、この会の運営は、最低でも会員が180名必要なのですが、この2年間は約140名の会員数であるためです。

会員数が180名を超えれば、最低限の活動を続けていきますので、退職、引越しや、入学など、新しい人との出会いのこの時期に、この加古川シネマクラブのことも、チラシなどを持ち帰って、話題にしてください。特に映画ファンの人には入会を薦めていただきますよう重ねてお願いいたします。

なお、年間6回の例会のほか、一昨年5月から始めた明石シネマクラブとの例会の相互参加を含めれば、年間12回の映画鑑賞機会ができます。映画ファンにとっては、なかなか魅力的なことだと思います。

加古川シネマクラブは、いつでも新入会員熱烈募集中です。

例会のお知らせ

■名称/第83回例会 『希望の国』

■日時/2016年3月16日(水) ①PM1:50~、
②PM4:10~、③PM6:30~

■場所/加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス加古川東ランプ北東へ600m)

■受付/入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡してください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル/希望の国

■監督/園子温

■出演/夏八木勲、大谷直子、村上淳、神楽坂恵、梶原ひかり、吹越満、清水優、伊勢谷友介、でんでん、堀部圭亮、深水元基、河原崎建三

■データ/2012年、日本、2時間13分

■ジャンル/ドラマ

■解説/園子温監督が、福島原発事故の問題が色濃く続く2012年に公開させた大いなる話題作。

福島原発事故の問題が続く中で、次の原発事故が起こり、見えない放射能に怯え、国の規制などに翻弄される

ふつうの生活を送る老若男女を描いた作品。この種の映画には珍しく、ほとんどイデオロギーや政治的色彩を感じないヒューマンドラマ。少しSF的な印象もある。

確か、その年の「キネマ旬報」の年間映画ランキング第1位の票を得ていたはずだ。

主演の夏八木勲の死期を前にした好演は見る者の心に響くものでした。

映画の社会的意義を考えるうえで、必見の映画です。観終わった後に、園子温監督の妻さも感じました。



加古川シネマクラブ「2015年ベストテン」

順位	作品名 (邦画)	作品名 (洋画)
1	FOUJITA	ザ・テノール
2	海街ダイアリー	パレードによろこそ
3	あん	妻への家路
4	戦場ぬすみ	カノ 海の向こうの甲子園
5	ルンタ	エール!
6	ソ満国境15歳の夏	黒衣の刺客
7	駆け込み女と駆け出し男	間奏曲はパリで
8	愛を積むひと	パリよ永遠に
9	繕い裁つ人	サンドラの週末
10	野火	幸せのありか
次点	小さき声のカノン	セッション

例年は忘年会とその次の例会参加者のアンケートなどから、その年の映画ベストテンを選んできました。しかし、今年は、昨年に引き続き、忘年会でも映画ベスト

トテンの話が無かったのですが、やはり、その年の映画ベストテンを残したいということになり、2月3日の運営委員会などで、2015年の年間映画ベストテンを選びました。いろいろ意見がある人もいるかとは思いますが、加古川シネマクラブが選んだ2015年の年間映画ベストテンを発表します。

定例総会開催のお知らせ

加古川シネマクラブでは、2016年度の定例総会を下記のとおり開催いたします。1年間の基本活動を決定する会議ですので、会員の皆さまには、ご出席いただきますようお願いいたします。

1 名称 2016年度加古川シネマクラブ定例総会

2 日時 4月27日(水)午後7時から(約1時間)

3 場所 加古川総合文化センターサークル室2
(図書館の2階)

4 内容 (1)2015年度事業報告に関する事

(2)2015年度決算に関する事

(3)2016年度役員を選任に関する事

(4)2016年度事業計画に関する事

①例会、②明石シネマクラブとの例会参加相互協力の試行継続、③その他の主催事業、共催・協力事業、会議など

(5)2016年度予算に関する事

5 議案 現在準備中です。事前に確認できるよう

4月13日頃から27日まで加古川シネマクラブのホームページ上に掲載します。

6 参加方法 直接会場にお集まりください。

7 その他 当日に出席できない方は、委任状(書面であれば形式を問いません)を提出することによって、出席する会員に議決等を委任することができます。

前回例会の報告

1月21日の例会では、韓国のオペラ歌手、ベー・チュエチヨルの生涯を日本人の音楽プロデューサー沢田との友情を含めて描いた韓国映画『ザ・テノール 真実の物語』を鑑賞しました。

ユ・ジテと伊勢谷友介という日韓の若手俳優の好演とともに、心打つ作品で好評でした。このことを示すように加古川シネマクラブ2015年の年間映画では洋画の部で第1位としています。

参加会員104人、明石シネマクラブからの参加者4人で合計108人の参加者でした。折角ですから、もっと多くの人に鑑賞していただきたいところです。

明石シネマクラブ例会情報

■名称／『戦場ぬ止み(いくさばぬとうどうみ)』

(2015年、日本、129分)

■解説／2015年、アメリカ軍新基地建設のため埋め立



(C) DOCUMENTARY JAPAN/東風/三上智恵

てが進む辺野古の海で起こっている衝突を記録したドキュメンタリー。14年11月の沖縄県知事選で新基地建設反対の翁長雄志氏が勝利した後も、国策として海の埋め立てが続き、現場では住民による抗議活動とそれを排除しようとする警察や海上保安庁との衝突も起きている。そうした激しい対立の起こっている現実のほか、基地と折り合って生きる人々の思いや、苦難の歴史のなかで培われた沖縄の豊かな文化や暮らしも描き出している。

■監督／三上智恵

■プロデューサー／橋本佳子、木下繁貴

■撮影／大久保千津奈

■監督補／桃原英樹

■日時／4月23日(土) ①AM10:00-、②PM1:30-

③PM5:30-、三上監督トーク PM3:45-PM4:45、三上監督あいさつ PM5:30

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする(今回は上映体制の都合もあり、可能な人はカンパしてください。)

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

http://homepage3.nifty.com/cinemaclub

会員数147人(1月21日現在)